

事務事業名		公用車管理事業		所属部	総務部	所属課	管財課
総 計 画 体 系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	財産管理監視G	課長名	日野 誠
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		担当者名	南波真二	電話番号	0854-40-1025 (内線) 3558
	目的 対 象	行政機能	意図	公平で効率的なサービスを提供する。	会計	款	大 事 業 大 事 業 名
	基本事業名	〈016〉公共施設の適正管理		予算科目	011003	中 事 業 中 事 業 名	03公用車管理事業 05公用車更新事業
目的 対 象	行政機能	意図	公共施設を適正に管理する。	項 目	0530	中 事 業 中 事 業 名	03公用車管理事業 05公用車更新事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市が所有、貸与(リース)を受けている車両(以下「公用車」という)の管理
1. 公用車の取得及び処分並びに自動車検査の受検
2. 公用車の利用調整
3. ガソリンの給油、オイルの補給等及び故障修繕対応等
4. 交通事故の処理(自動車損害共済業務)

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動)	27年度計画(27年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
	① 公用車の取得及び処分並びに自動車検査の受検 ② 公用車の利用調整 ③ ガソリンの給油、オイルの補給等及び故障修繕対応等 ④ 交通事故の処理(自動車損害共済業務) 新規: 公用車適正配車計画を策定した。	26年度に同じ				
ア	公用車台数(全車両)	台	363	358	359	350
イ	公用車台数(上記の内、バス、特殊車両等除く。)	台	162	153	155	150
ウ	事故発生件数	件	21	6	6	0
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
	公用車	ア	公用車台数(上記の内、バス、特殊車両等除く。)	台	162	153	155	150
	イ							
	ウ							
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)		
・集中管理による公用車の削減を図る。 ・公用車を適正な状態で運転できるように管理する。	ア	職員一人当たりの公用車台数	台/人	0.4	0.4	0.4	0.3	
イ								
ウ								

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)	
公用車管理事業	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
燃料費 1,407千円 修繕費 1,652千円		県支出金	千円				
保険料 3,053千円 賃借料 301千円		地方債	千円				
その他 258千円		その他	千円	2,451	526	1,151	0
公用車更新事業		一般財源	千円	5,771	6,623	22,872	19,487
賃借料 1,393千円 機械器具費 15,933千円		事業費計(A)	千円	8,222	7,149	24,023	19,487
その他 26千円	人 件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	1,177	744	890	
		人件費計(B)	千円	4,611	2,896	3,460	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	12,833	10,045	27,483	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
公用車の老朽化が進み更新が必要となってきている。 公用車台数の抑制を図るため配車計画の策定が必要となっている。	平成26年度に公用車適正配車計画を策定した。 平成25年度に公用車の更新基準を定め平成26年度より計画的に公用車を更新することとした。	公用車の台数・配置・処分等につき、管理計画を策定するよう指摘を受けている。また、管理状況及び履歴が確認できる公用車台帳を整備するよう指摘を受けている。

事務事業名	公用車管理事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	---------	-----	-----	-----	-----

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																				
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																					
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																					
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																				
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																					
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	公用車を年次・計画的に更新すれば、消耗修繕費といった経費を削減することができる。																			
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																					
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	廃止の場合、各部局で業務が重複し、迅速・効率性の面で後退する。また、外部委託した場合でも、市側の管理部門は必要であり、管理費の支出も必要となる。																		
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																					
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	他の事業との関連はない。																				
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない																					
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	市組織の改組や新庁舎建設による職員の移動・集約に合わせて、保有台数の削減が可能である。																				
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない																					
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	買い取り車両よりリース車両の方が業務従事時間の削減が可能である。但し、事業費総額は増加する。																				
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない																					
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	誰でも利用可能であり、機会は均等であり、公平公正である。																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																					
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																			
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
経費の節減と公用車の安全運行を両立するため計画的に公用車の更新を行う。公用車の配置について、適正配車計画に基づき保有台数の削減及び有効活用を図る。			<p>公用車を年次・計画的に更新すれば、消耗修繕費といった経費を削減することができるようになる。合わせて、公用車の適正配車計画に基づき保有台数の削減及び有効活用を図る必要がある。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト			削減	維持	増加	向上	●			維持			×	低下		×	×
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上	●																					
維持			×																			
低下		×	×																			

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<p>経費の節減と公用車の安全運行を両立するため計画的に公用車の更新を行う。公用車の配置について、適正配車計画に基づき保有台数の削減及び有効活用を図る。</p>
<p>経費の節減と公用車の安全運行を両立するため計画的に公用車の更新を行う。公用車の配置について、適正配車計画に基づき保有台数の削減及び有効活用を図る。</p>	